

27. interuniversitäres Sommerseminar für deutsche und japanische Kultur

第27回 ドイツ語ドイツ文化ゼミナール (夏のインターウニ)

„Berlin, Berlin!“

参加者募集のお知らせ

インターウニ・ゼミナールは、ドイツの文化・社会に関心を持つ日本人とドイツ語圏の人がさまざまな大学から集まって (interuniversitär)、一つのテーマについて、日本とドイツの文化を比較・対照しながら (interkulturell)、専門の枠を超えて (interdisziplinär)、ドイツ語で話し合うゼミナールです。また、参加者が、国籍や文化の違いはもちろん、先生と学生という立場の違い、世代差や性差、あるいは関心の違いを超えて討論し、たがいに学びあうこと (Inter-Lernen) が重要だと考えています。このゼミナールが目指しているのは、単なるドイツ語会話の練習ではなく、現代的な問題についてドイツ語で議論することです。また、その経験が参加者の専門的な研究や、これからの社会の活動と結びつくことも期待しています。

今回のテーマは「Berlin」です。ベルリンと聞いて、みなさんはまず何が思い浮かぶでしょうか。ブランデンブルク門？ フィルハーモニーやオペラ、美術館、モダン・アート？ 文化や政治の中心であると同時に、ドイツの歴史があちこちに刻み込まれている街でもあるベルリンについて、今年は議論をしましょう。15年前に統一ドイツの首都となったベルリンは、東西分断の跡を多く残していた街を大きく改造し、「ヨーロッパ最大の工事現場」と言われてきました。国会議事堂、ポツダム広場などが新しい首都のシンボルとして生まれ変わったこの街には、ドイツ、ヨーロッパだけでなく、世界中から人々が集まり、新しい文化の発信地となっています。

一方、変化し続けるこの街には、さまざまな歴史が刻まれています。19世紀末、ドイツ帝国の首都として大きく発展したベルリンの記憶は、美術館や大学という建築の中に、またさまざまな文学テキストの中に発見することができます。20世紀初頭には、アヴァンギャルドで自由な文化の発信地として、パリ、ニューヨークと並ぶ、魅力的な大都市でもありました。一方、ナチスドイツ、第二次世界大戦、その後の分断を経験したこの街では、ベルリンの壁、ユダヤ博物館、最近完成したホロコースト記念碑など、負の遺産を記憶するモニュメントが、現在もなお、忘れてはならないこの街の現代史を語っています。

都市とは、歴史や文化、政治的な位置など、多くのことを読み取ることでできるひとつの無限なテキストです。限られた日数で (今回のゼミナールは、例年より1日短くなりました) この魅力ある街について議論し尽くそうとするのは、少し欲張りかもしれませんが、今回は、ベルリンが抱えている歴史、ベルリンの新旧の文化に特に焦点をあてていきましょう。またドイツの首都の歴史と文化について議論することが、日本の首都の現在について考える一つのきっかけともなるかもしれません。

ゼミナールでは、基本的に小人数のグループで事前に配布されたテキストについて討論した上で、その内容をドイツ語で報告し、全員で討論します。発言はなるべくドイツ語できるようにしますが、ドイツ語に自信がなくて、何か言いたいことがあってもどう言えばいいのかわからないという場合は、まず日本語で言ってから、みんなでドイツ語になおす練習をしてみましょう。

日 時：2005年7月30日 (土)～8月3日 (水)

場 所：〒389-1303 長野県上水内郡信濃町野尻湖 ほとり荘 Tel: 0262-58-2606

参 加 費：39,000円 (4泊5日の宿泊・食事、テキスト、通信費を含む。交通費は含みません。)

応募資格：大学の専門課程 (原則として3年生以上) または大学院でドイツの文化・社会に関心を持ってドイツ語を勉強している学生であれば専攻は問いません。

募集人数：25名程度

申込締切：2005年7月15日 (金) (それ以降は、問い合わせてください。それ以前でも募集人員に達したら締め切ります)

申込方法：<http://www.hc.keio.ac.jp/~skazumi/interuni/index.html> に申し込みフォームがあります。

ここから、指示に従って必要事項を記入して送信してください。

- ・申し込み後、登録アドレス宛に実行委員会から受け付け確認メールが送られますので、それを確認したら、参加費全額 (39,000円) を所定の口座に振り込んでください。(詳細は受付確認メールにてお知らせします。)
- ・申し込み後1週間経っても連絡がない場合は、メールで実行委員会宛 interuni@gj9.so-net.ne.jp に連絡してください。
- ・参加費領収書は現地でお渡しします。
- ・ゼミについて質問したい場合も上記のアドレスで実行委員会に問い合わせてください。

講師： 相澤啓一 (筑波大学助教授) Hartmut Behr (筑波大学客員教授) Mechthild Duppel-Takayama (慶應大学講師)、
浜崎桂子 (神戸市外国語大学助教授)、Herrad Heselhaus (筑波大学助教授)、大石紀一郎 (東京大学助教授)、
Thomas Pekar (学習院大学教授)、弓削尚子 (早稲田大学法学部助教授)

2005年6月

主催： Interuni-Seminar 実行委員会：相澤啓一、浜崎桂子、大石紀一郎
協力： Goethe-Institut Tokyo (東京ドイツ文化センター)
Deutscher Akademischer Austauschdienst (ドイツ学術交流会)

27. interuniversitäres Sommerseminar

30. Juli – 3. August 2005 Nojiri/Nagano

	30. Juli Samstag	31. Juli Sonntag	1. August Montag	2. August Dienstag	3. August Mittwoch
		F r ü h s t ü c k			
9.00		Thema I Textarbeit + Diskussion In Gruppen	Thema II Textarbeit + Diskussion In Gruppen	Thema III Textarbeit + Diskussion In Gruppen	EVALUATION
12.00	ANREISE	M i t t a g e s s e n + P a u s e			
15.00	Einführung Brainstorming Gruppen- Arbeit	Gruppenarbeit+ Plenum : Protokolle der Gruppenarbeit + Diskussion	FREIE ZEIT	Gruppenarbeit Plenum : Protokolle der Gruppenarbeit + Diskussion	Änderungen vorbehalten
18.00	A b e n d e s s e n + P a u s e				
19.00	Feuerwerk !	Abend- programm	Protokolle der Gruppenarbeit+ Diskussion	SCHLUSSFEIER	
21.00	?? N a c h t r u h e ??				

- ◎ 準備のためのテキスト等は7月半ば頃までに送付しますので、その時点での住所を申込書に必ず明記して下さい。
- ◎ 野尻湖畔では自由時間に水泳、ハイキング、ボート、テニス等のスポーツを楽しめます。水着などもお忘れなく。
- ◎ 初日の夜は、湖上祭の花火大会です。お楽しみに！！

ホームページからの申し込みができない場合：

メール題名に「第 27 回インターユニ参加申込」と明記し、以下の項目を記入して、E メールで送ってください。メール宛先は interuni@gj9.so-net.ne.jp です。添付ファイルは使わないでください。

なお、住所やメールアドレスは、今後の連絡に必要なものですから、特に正確に記入してください（帰省や引っ越し予定のある人は、そちらの連絡先等も「9. その他」の項目に記入してください）。

1. 名前（全角漢字で。姓、名の順。姓と名の間に全角で一字スペースを入れる。）
2. 名前（半角ローマ字で。姓、名の順。姓と名の間に半角で一字スペースを入れる。）
3. 性別（「男」、または「女」と記入）
4. 郵便番号（半角数字。間にハイフン「-」を入れて7桁。例えば「123-4567」のように。）
5. 住所（県名不要。〇〇市から記入。住所は1-23-4-506のように、半角の数字とハイフンのみ使用。空白スペースは不要。）
6. メールアドレス（定期的にチェックする連絡用アドレスを、半角英数字で記入してください。携帯メールでないものを！）
7. 電話番号（市外局番から半角の数字と半角ハイフンを使用。例えば0123-45-6789。（ ）や空白は使用しない。）
8. 所属大学名、学年（「〇〇大学△△学部/大学院××学科/専攻課程◇年」のように）
9. その他、以下の項目について自由な形式で記入してください。
 - a) これまでのドイツ語学習歴、およびドイツ滞在歴（あれば、どこで、何年、どのような形で）
 - b) これまでのインターユニ参加歴（あれば、甲子、または野尻で、いつ？）
 - c) 事務局からは今後、基本的にメールで連絡を差し上げます。メールが使えない人は、別の連絡先をあげてください。
 - d) その他、帰省などの時期・連絡先。また、ゼミやテーマに関して自由な提案やコメントなど。